カム次末が今畝供は高 古沙河海争

任会員	<u> </u>	iT凹 <del>事</del> 侈	2評価書								令和02年05月15	<u> </u>
計画の名称	多古町の安全安心	心な市街地整備の推進	進(防災・安全)									
計画の期間	平成28年度	~ 平成30年原	度 (3年間)							重点配分対象の該当		
交付対象	多古町											
計画の目標	安全安心な市街は	也の整備を推進するだ	こめ、避難場所の確保	採拡充をするとともに、・	公園緑地施設の整備を推進す	る。						
全体事業費	建(百万円)	合計 ( A + B + C +	D)	1,072 A	1,072 B	0 C	0 D	0	効果促進事業費の割合 C /	(A+B+C+D)	0 %	

	計画の成果目標(定量的指標)								
番号		定量的指標の現況値及び目標値							
田与	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		(H28当初)	(H29末)	(H30末)					
1	・体育館を再整備することにより、体育館の利用者数を20,006人/年(H28)から30,000人/年(H30)に増加させる。								
	体育館の年間利用者数(体育館の利用申請から集計する。)(人)	20006人	人	30000人					
2	・防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難所に避難できる人数を1,545人(H28)から2,032人(H30)に増加させる。								
	災害時に体育館に避難可能な人数(体育館面積 / 1人当たり想定避難面積)(人)	1545人	人	2032人					

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1人当たり想定避難面積 4m²/人												

案件番号: 0000212272

A 基幹事業												_					
ļ		事業	地域	交付	直接		種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /			間(年度)		費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接		イモルソ・	4至ハ1~	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28 H	29 H3	0 H31 R02	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	5ことによ	り期待	される効果											
		備考															
都市公園・緑地等事	l .	公園	一般	多古町	直接	多古町	-	-	都市公園等事業(多古町	体育館建替え	多古町				1,072	l	-
業	A12-001								ふれあい公園)							l	
!	ļ												•				
!																	
							T				小計				1,072		
			'			-									-1		1
											合計				1,072		
!	,																

1 案件番号: 0000212272

	事後評価
 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内の担当部署	令和2年5月
	公表の方法
	町のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
	体育館の再整備により、体育館の利用者数が増加した。また、災害時に体育館に避難可能な人数が増加したことにより、防災機能の強化が図られた。
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
今後も、体育館の利用促進や住民の防	災意識向上に努めます。

案件番号: 0000212272

目	標値の達成		
	115.1± / m/		
留亏	目標値 /		目標値と実績値に差が出た要因
	体育館の	年間利用者数	
1	最 終 目標値	30000人	新型コロナウイルス感染拡大防止のために体育館を利用制限しなければならなかったため。
	夫縜但	20921人	
	災害時に	体育館に避難可能な人	
2	最 終 目標値	2032人	当初想定していた避難箇所に物資等の保管場所を確保したため。
	最 終 実績値	1986人	

1